

平成27年度第1回都道府県肝疾患診療連携 拠点病院責任者向け研修会

平成27年8月7日(金)

事例提供

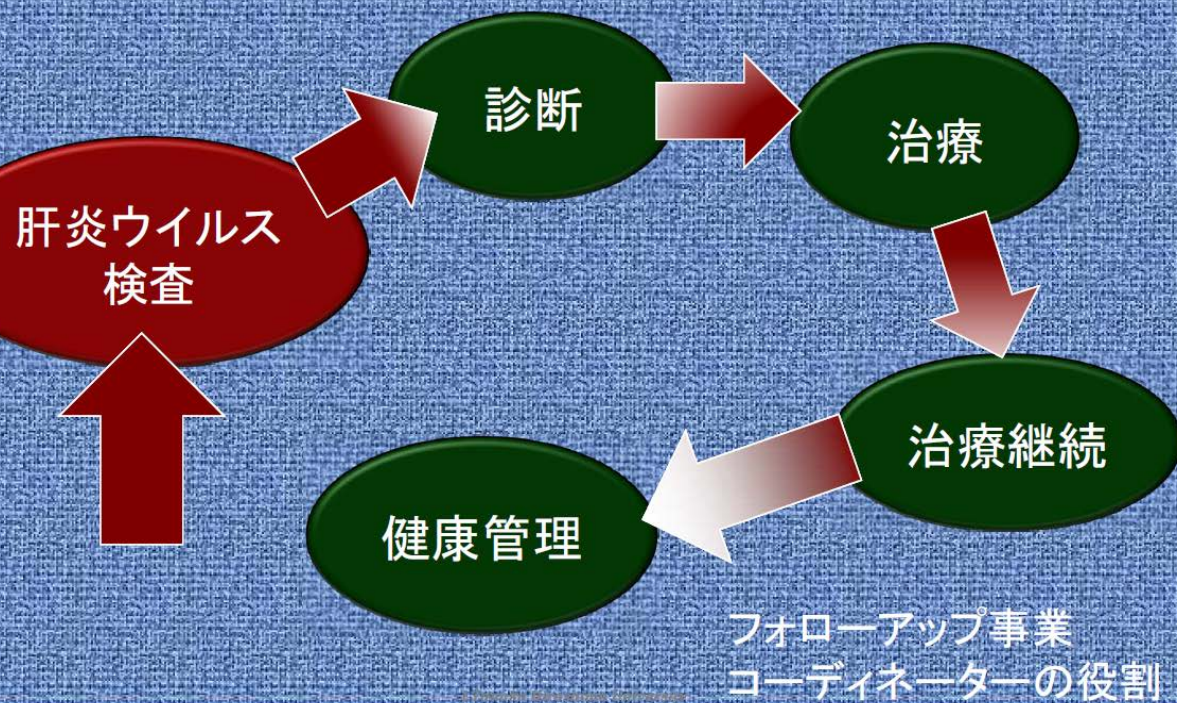
行政と拠点病院の協働による 肝炎・肝硬変患者支援について

福井県済生会病院内科
野ツ俣和夫

① 真に、肝炎、肝癌患者を撲滅するには

ウイルス肝炎・肝がんの疫学と対策

肝炎、肝がんによる
健康被害の抑制、防止、体制整備



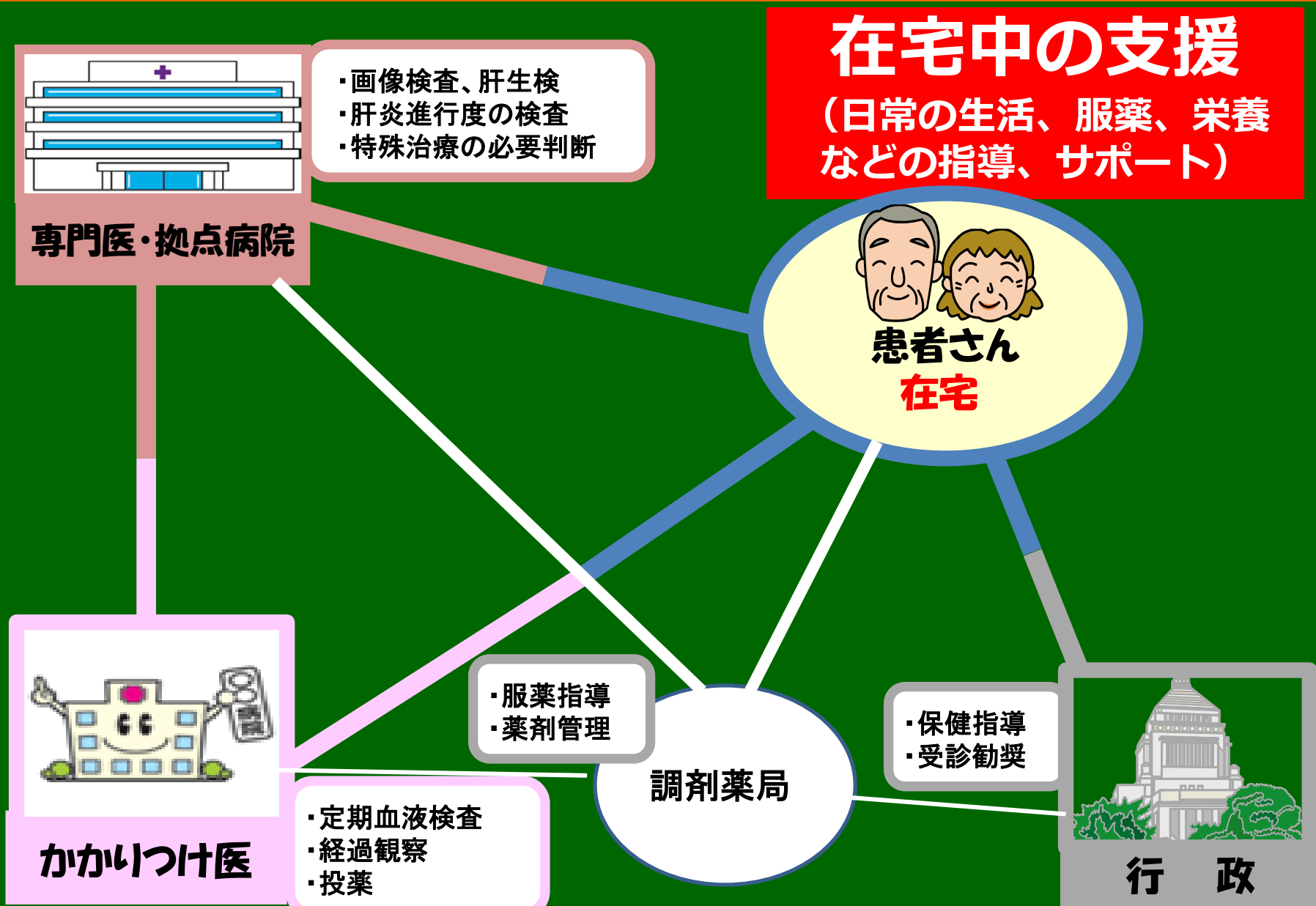
- ・啓蒙活動
- ・肝炎ウイルス検査
（掘り起し）
- ・受診勧奨
（フォローアップ）



- ・情報提供強化
（肝診療従事者）
（肝患者、市民）
- ・無料検査推進
- ・肝炎コーディネーター養成

②

真に、肝疾患患者を支援するには



肝拠点病院の活動（医療情報の提供、支援、協議）

- 必須** ① 「肝疾患相談支援室」よろず相談室内
- 情報提供** ② 「肝疾患診療従事者研修会」を開催（3回／年）
- 情報提供** ③ 「肝臓病教室」を開催（1回／月）
- 情報提供** ④ 「出張型 院外肝臓病教室」を開催（1回／年）
- 情報提供** ⑤ 「一般向け講演会」を開催（1回／年）
- 検査推進** ⑥ 「出前肝炎ウイルス検診」を開催（2回／年）
- その他** ⑦ **その他：連携活動、IT発信**
- ・肝炎インターフェロン連携パス
 - ・肝トピックス
- 新たな**
- Mission1** ⑧ 「肝炎コーディネーターの養成」
- Mission2** ⑨ 「肝疾患在宅患者の支援」

① 肝炎コーディネーター養成

肝炎コーディネーターの活動

疾病管理の3ステップ：「受検」「受診」「受療」

ステップ1「受検」

肝炎ウイルス検査の
受検率向上

肝炎ウイルス検査

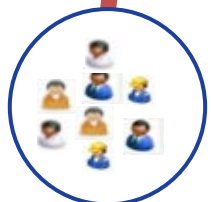


かかりつけ医



健診機関

健康講話
啓発イベント



県内の肝炎ウイルス検査の未受検者

ステップ2「受診」

保健指導と医療機関での
精密検査の受診勧奨



肝炎ウイルス
陽性患者の相談

相談・保健指導



保健福祉事務所
市町
健診機関

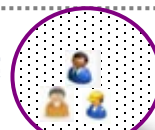
精密検査の支援



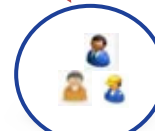
病院



かかりつけ医



他疾患のために
通院するウイル
ス陽性患者、通
院しない肝炎患
者



精密検査を受けた
肝炎患者

ステップ3「受療」

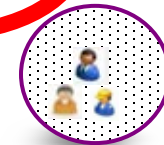
かかりつけ医
による治療継続



専門医
による治療導入
方針決定



治療に対する
動機づけ・支援



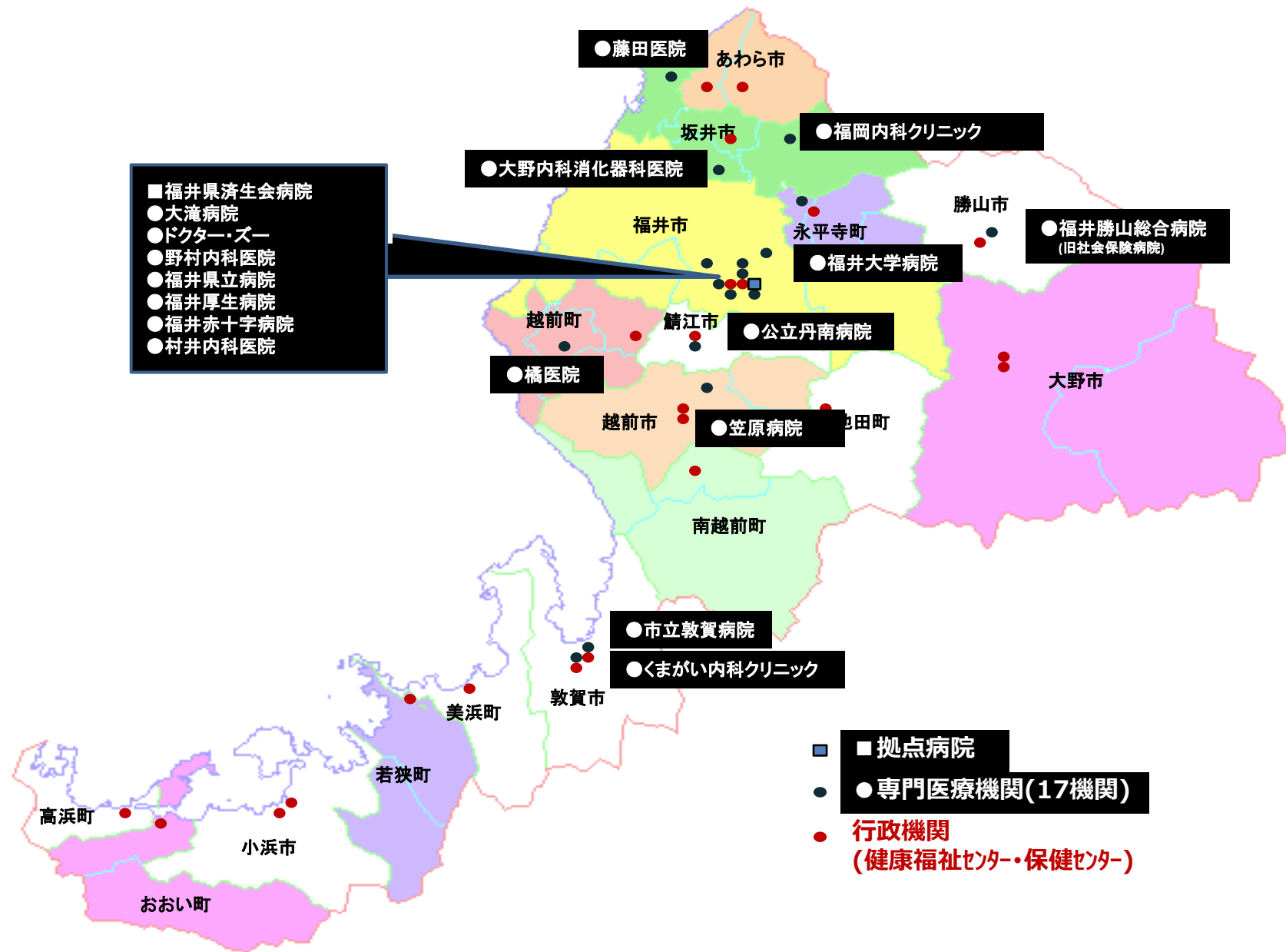
他疾患のために通
院するウイルス陽
性患者、通院しな
い肝炎患者

抗ウイルス治療受療に
関する相談・支援

治療
進展防止策
定期観察

コーディネーターの関わり

福井県内の肝疾患診療MAP



各機関のコーディネーターの活動が重要

肝炎コーディネーター研修会（H26.9.27）

平成26年度 福井県肝炎コーディネーター研修会 開催要領

■目的：肝炎コーディネーターの役割を知り、継続的に意欲的に活動する人材の育成

【肝炎コーディネーターの役割】

受検促進－自覚のない肝炎ウイルス感染者の掘り起しのため、肝炎ウイルス検査の受検促進や啓発活動を行う
受診勧奨－感染者に対するフォローアップのため、適切な医療機関への受診を勧奨する
受療支援－早期に精査・治療に結びつけられるよう、専門医受診勧奨や、支援をする

■日時 平成26年9月27日(土) 14:00～17:00

■場所：福井県自治会館 2階 201会議室
福井県福井市西開発4-202-1 TEL：0776-57-1111

■受講料：無料（駐車場約130台：無料）

■対象者：

本事業の趣旨が達成できると認められ、肝炎コーディネーターとしての活動に意欲のある方
例）看護職、薬剤師、相談員、行政機関職員（保健師等）等

■プログラム：

14:00～14:05：ご案内

14:05～14:10：開会のご挨拶 福井県済生会病院 名誉院長 肝疾患診療責任者 田中 延善

【講演】

【Ⅰ】14:10～14:20：福井県における肝炎対策 福井県 健康増進課 鳥居 恵 様

【Ⅱ】14:20～14:40：福井県済生会病院での取組と肝炎の最新治療 福井県済生会病院 内科部長 野ツ俣 和夫

【Ⅲ】14:40～15:10：佐賀県での肝炎コーディネーターの役割 佐賀県統括肝炎コーディネーター 泉 夏美 様

【Ⅳ】15:10～16:10：肝炎コーディネーターを活用した受検、受診、受療への取組み 佐賀大学 江口 有一郎 教授
(座長：福井県済生会病院 名誉院長 肝疾患診療責任者 田中 延善)

【肝炎コーディネーターQ&A】

16:15～16:50：肝炎コーディネーターに関するQ&A 司会：福井県済生会病院 内科医長 真田 拓

16:50～16:55：肝炎、JPのご案内（プリストル・マイヤーズ欄より）

16:55～17:00：閉会のご挨拶 福井県済生会病院 名誉院長 肝疾患診療責任者 田中 延善

17:00～認定証交付

共催：福井県肝疾患診療連携拠点病院 福井県済生会病院、プリストル・マイヤーズ（株） 後援：福井県



肝炎コーディネーター研修会（H27.3.12）

平成27年2月10日

肝疾患に関する各医療機関の長 様
肝炎コーディネーター 様

福井県肝疾患診療連携拠点病院 福井県済生会病院
肝疾患診療責任者 田中 延善

第3回肝炎コーディネーター研修会のご案内

日頃から、肝炎対策事業の推進につきましては多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年9月27日に、肝炎コーディネーター向けに、資質の向上、活動意欲の向上を主な目的とした内容とした第2回の肝炎コーディネーター研修会を開催したところですが、さらに具体的な活動のノウハウを習得していただくため、前回たいへんご好評いただいた佐賀県統括肝炎コーディネーターの泉夏美先生をお招きし、第3回目となる肝炎コーディネーター研修会を企画いたしました。

つきましては貴医療機関より上記のコーディネーター様または適任の方にご出席いただきますようお願い申し上げます。同封のFAX申込用紙(第20回肝疾患診療従事者研修会と兼用)に必要事項をご記入の上、3月2日(月) までに担当宛にFAXまたはEメールにてお申込みくださいますようお願いいたします。

記

■目的：肝炎コーディネーターの役割を知り、継続的に意欲的に活動する人材の育成

【肝炎コーディネーターの役割】

受検促進—自覚のない肝炎ウイルス感染者の掘り起しのため、肝炎ウイルス検査の受検促進や啓発活動を行う

受診勧奨—感染者に対するフォローアップのため、適切な医療機関への受診を勧奨する

受療支援—早期に精査・治療に結びつけられるよう、専門医受診勧奨や、支援をする

■日時：平成27年3月12日(木) 8:10～18:55

■場所：福井商工会議所 2階 会議室D

■受講料：無料

■対象者：肝炎コーディネーターとしての活動に意欲のある方

例)看護職、薬剤師、相談員、行政機関職員(保健師等)等

■内容：

佐賀県統括肝炎コーディネーター 泉 夏美氏を囲んで、少人数のグループに分かれて事例検討や情報共有ができる会にしたいと考えています。お気軽にご出席ください。

■出席者特典：

ご出席の方全員に、肝臓病教室の講義スライドを電子媒体で提供致します。

共催：福井県肝疾患診療連携拠点病院 福井県済生会病院、MSD(株) 後援：福井県



福井県肝炎コーディネーター確立へのロードマップ-これまでの経過-

GOAL: 肝拠点病院の“支店”を**各地区**につくる

- 
- ①従来、拠点病院が行ってきた活動を**コーディネーター**が**各地区**で実施。
 - ②拠点病院の“肝疾患相談支援室”と同様に相談・支援を**コーディネーター**が**各地区**で実施。

県全体の各地区で自主的に活動していただく基盤作りが必要。
各地区の拠点はどうか。

STEP4: 具体的なノウハウの習得

第3回肝炎コーディネーター研修会

(平成27年3月12日)

佐賀大学医学部肝疾患センター講師2名による特別講演

STEP3: ヒューマンネットワークの構築

肝炎コーディネーター連絡会

(平成27年1月27日)

STEP2: モチベーションUP↑

第2回肝炎コーディネーター研修会

(平成26年9月27日)

佐賀大学医学部肝疾患センター講師2名による特別講演

STEP1: 基礎知識習得

第1回肝炎コーディネーター研修会

(平成23年9月10日)

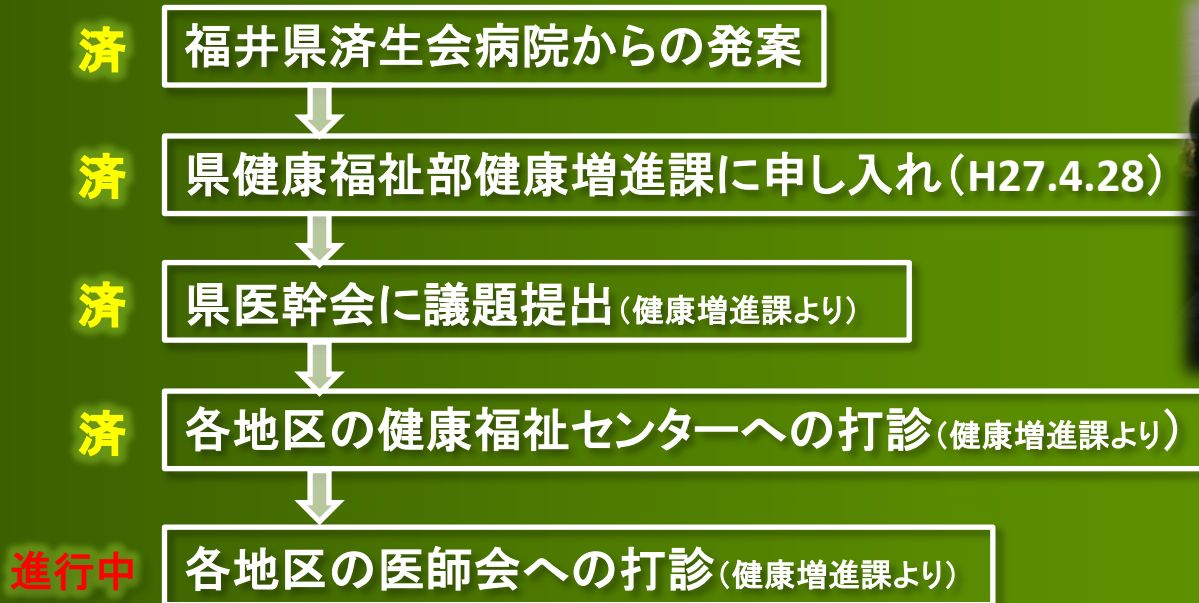
各地区の拠点は
何処に置くか



健康福祉センターは 県の機関として県全体各地区に存在

福井県肝炎コーディネーター確立へのロードマップ -今後の予定-

各地区の健康福祉センターを核にして、
肝炎コーディネーターのコアメンバーを養成する



今年度の事業計画

各地区での肝炎コーディネーター研修会開催
(各保健所管轄? 医療圏?)

第1回目となる県健康増進課との
合同会議(H27.7.22)

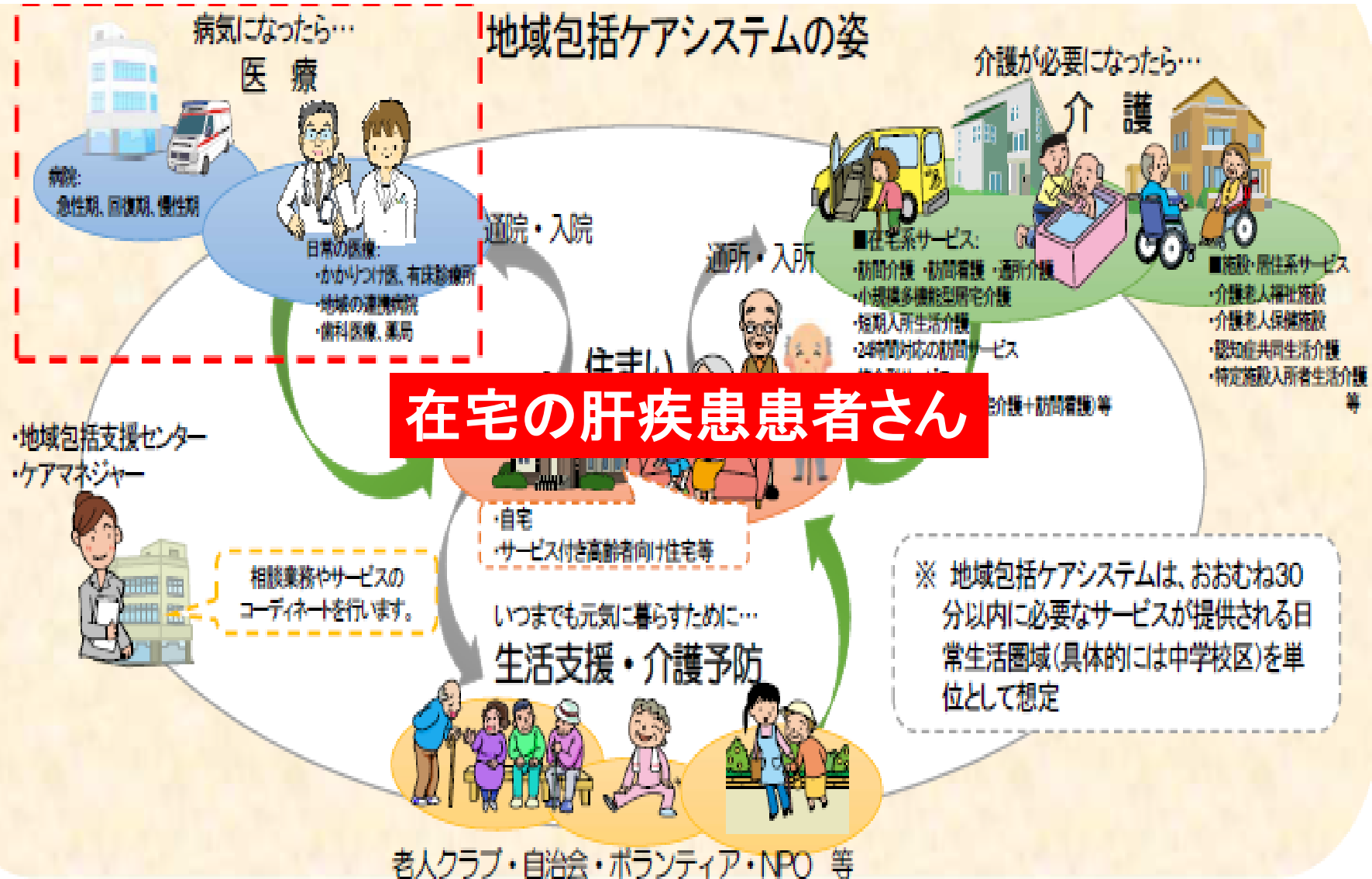
課題

各地区のコアメンバーとなる肝炎コーディネーターを任命

肝炎コーディネーターの活動に自主性を持たせる意識づけ、拠点病院との連携

② 肝疾患在宅患者の生活支援

地域包括ケアネットワーク



市町村単位での医療側・介護側合同在宅ケア体制作り

福井県行政地図



当院と大野市との
頻回の話し合いにより
合同勉強会開催を決定

第3回大野市地域包括ケアネットワーク勉強会

2015年5月14日



【参加者数】

◆ 83名

【参加者職種】

- ◆ 医師3名
- ◆ 看護師18名
- ◆ リハビリ2名
- ◆ ケアマネ14名
- ◆ 介護職13名
- ◆ 薬剤師2名
- ◆ 社会福祉士3名
- ◆ 栄養士2名
- ◆ **行政10名**
- ◆ 保健師6名
- ◆ その他10名

【事例検討会テーマ】

《生活支援が整わず入退院を繰り返す肝硬変患者の一事例》

⇒参加型の勉強会を実施し、在宅医療に携わる人材の育成

第3回大野市地域包括ケアネットワーク勉強会

生活支援が整わず、入退院を 繰り返す肝硬変患者の一例

福井県済生会病院内科

野ツ俣和夫

症例提示

患者:74歳(1941年生まれ)、女性、無職

主訴:食欲低下、ふらつき

家族歴:父一胃癌、母一糖尿病

既往歴:25歳;虫垂炎、35歳;出産時出血多量にて輸血(+)

嗜好歴:アルコールなし、たばこなし

現病歴:1992年より肝障害指摘され近医受診(C型肝炎)。

1996年9/9-11/9当科入院“**C型肝硬変**(腹腔鏡肝生検) **Child B**”と診断。

利尿剤、リーバクト、ラクツロース製剤、カルニチン、下剤、DM薬服用継続中

①2008年7/22-9/22当科入院“**脳症**、**DM**、肝細胞癌、LC(C)”

②2009年3/17-4/25:**脳症**、③2009年5/23-6/23:**脳症**、④2010年8/11-9/7:**DM悪化**、

⑤2012年7/11-7/24:肝癌、⑥2014年8/11-9/7:肝不全、⑦2013年6/10-7/8:肝不全、

⑧2014年2/1-2/12:SAH、⑨2014年2/12-3/3:肝不全、⑩2014年3/26-4/7:**脳症**、

⑪2014年7/14-7/29:肝癌、⑫2014年11/4-11/18:**DM悪化**、⑬2015年1/4-1/19:**DM**

⑭2015年1/29-2/17:**脳症**、⑮2015年3/5-3/25:**DM**

退院後、日常生活注意、服薬、食事守れず。次第に食欲低下し、ふらつきが強くなり、入院した。

脳症などにより過去15回の入退院繰り返し。

プロブレムリスト

- 肝性脳症繰り返し既往
 - 糖尿病コントロール不良
 - C型肝硬変 Child-Pugh B
 - 肝細胞癌 TACE後
-
- 病気の認識不足
 - 不確実な服薬（利尿剤、NH₃低下剤、アミノ酸製剤）
 - 不規則な食事（総カロリー、蛋白量、塩分）

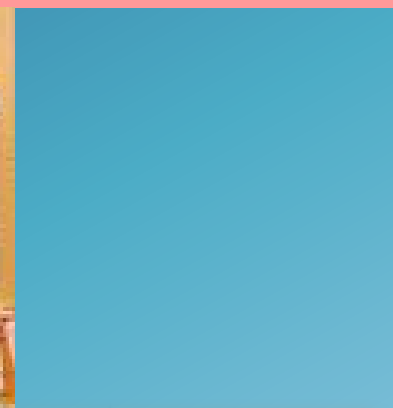
肝硬変のマネージメント

- 日常生活の注意（排便コントロールなど）
- 合併症治療、予防のために各種薬剤使用
- 肝硬変に対する栄養療法

日常生活管理、確実な内服、適切な栄養管理

これらのことをサポートすることが必要！

肝疾患相談支援室



◆ 受付時間：月曜日～金曜日（祝日を除く）
8:30～17:00（電話または面談）

◆ TEL：0776-28-1197
0776-28-8185



※ 予約制ではありませんが、事前にご連絡をいただくと相談がスムーズです



通院の有無にかかわらず、
ご本人様・ご家族の方、一般の方など
どなたでもお気軽にご利用ください。

肝疾患診療連携拠点病院
福井県済生会病院 H25.7



当院の患者さんの他、医療関係者の方や一般の方など
どなたでもお気軽にご相談ください。

肝疾患相談支援室としての 在宅肝疾患患者さんへの支援

- 患者さんの日常生活のアドバイス
- 在宅での緊急時の対応、医師への連絡、相談
- 連携室との協働によるかかりつけ医との連携
- 服薬指導（薬剤部、調剤薬局と連携）
- 栄養指導（栄養部と連携（地元の生協を活用））
- 在宅関係者の相談窓口。在宅関係者との連携

各部署との橋渡し役（コーディネーター）
（仮）肝在宅ケアコーディネーター

肝炎・肝硬変患者の包括的支援 ～肝拠点病院の役割～

- 肝炎患者さんの受検、受診、受療を進め、真に肝炎・肝がん撲滅を実現させるため、肝炎コーディネーターによる患者支援が必要であり、肝炎コーディネーター養成、活動開始が急務である。
- 肝疾患患者さんの真の支援には、在宅での生活、服薬、栄養管理などのサポートが必要であり、地域包括ケアネットワークの中で、各部署とのコーディネーター役を果たしていく必要がある。
- これらのことを行政(県、市町村)と肝拠点病院が協働して行っていくことが重要であると考えられた。